



2016年4月1日  
第583号

1部10円(組合員は組合費を含む)  
郵便振替00960-7-117274

TeI (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合  
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)

発行人 大椿 裕子

連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

## 講師・臨時職員 雇用継続要求

# 臨時職員・講師雇用継続決まる!

3月24日、府教委前で第4回臨時職員・講師雇用継続獲得闘争委員会がひらかれました。前日とは違って変わって寒風の吹きすさぶ中、多くの仲間の参加と、大阪全労協傘下組合の参加もあり、府教委前で熱気に包まれた集会が行われました。

委員長の挨拶の後、闘争委員会事務局長の状況報告があり、大阪府に雇用継続を申し入れていた組合員全員の雇用継続が確定しつつある事が報告されました。

組合のはやい段階からの市教委や、府立学校長に対する

雇用継続の申し入れと団交が功を奏したのです。

### 雇用継続確定の団交の 継続を申し入れる!

雇用継続のメドはたっています。まだ最終決定には至っていません。今年から再開した「雇用継続団交」では、組合に対する直接回答を求めています。状況報告の後、組合は団交継続を申し入れましたが、人事が忙しいと言う理由でこの日の団交は開催されませんでした。

### 闘争委員会全員の雇用確定!

府内義務制・府立学校・堺・豊中の講師や、東大阪の臨時主事などの雇用継続が確定する中、3月24日時点では、大阪市で、まだ1人の仲間の雇用が確定していませんでした。そこで、闘争委員会は一人の仲間の雇用獲得に向けて全員で闘うことを確認してこの日の集会を終わりました。

この仲間の雇用は3月28日に確定し、組合が要求した全組合員の雇用が確定しました。

待ってるだけじゃ雇用は確定しない  
この間、組合には次年度の

雇用がないという相談が相次ぎました。いくつかの教科や市町村では、常勤講師のいわゆる「過員」が見られたようです。今まで、何となく次年度の仕事があったからと声がかかるのを待っているだけでは機会を逃すだけです。

雇用不安を感じてからではできないことは限られます。早めに組合に入り、「私は仕事を続けたい」という意思をはっきりと示すことで、ともに次年度の雇用を確定させていきましょう。

豊嶋登(執行委員・闘争委員会専)

# 私学・大学でも組合加入で雇止め解雇阻止!!

4月1日を迎え、新たな年度が始まりました。この日を晴れやかな気持ちで迎えた人がいると同時に、年度末で雇止め解雇になり、不安な気持ちで迎えた労働者がいることを忘れてはいけません。今年も、年度末の雇止め解雇について多くの相談が寄せられました。

### 【大阪情報コンピューター 高等専修学校】

12年間勤務している非常勤講師が、1月中旬に突然の雇止め通告を受け、継続雇用を求めて同僚と共に組合に加入しました。組合が団体交渉申入書を送ると、法人はすぐさま雇止め解雇通告を撤回。組合員の雇用は継続されること

になりました。団交では、「通告をした教務主任の勘違い」と責任を部下に押し付け、辻褃の合わない説明に終了しました。今回のことをきっかけに、雇用不安を感じた非常勤講師達が続々と組合に加入しています。

### 【大阪経済大学】

1月下旬になって雇止め解雇通告を受けた経営学部の非常勤講師3名が、継続雇用を求めて組合に加入しました。大学は合理化を図るために組合員らが担当していた「マネジメントゲーム」という授業を他の授業と統合すると回答。しかしこの授業は、ウエイティングリストが出来るほど学生達に人気の授業でした。団交

を開催したものの、大学側出席者は回答も用意を何もしていませんでした。大阪経済大学は、別件で府労委に不当労働行為救済申立が行われていますが、教育合同との団交を軽視していることが、その姿勢から見て取れます。団交を継続し、継続雇用を勝ち取ります。

### 【関西学院大学】

社会学部は、2016年度からのカリキュラム変更を理由に、英語の非常勤講師の公募を行うことになりました。長年に渡って雇用してきた非常勤講師に対しても、「次年度の継続雇用を望むのであれば、公募に応募するように」と通知。これを期に、雇止め解雇される

のではないかと危機感を抱いた外国人非常勤講師3名が組合に加入。組合は団体交渉で、「公募にかかわらず、長年更新され続けてきた組合員を、次年度も継続雇用すること」を要求し、組合員の継続雇用を勝ち取りました。関学と組合は、事前協議事項を含めた和解協定書を交わしました。これは、大きな前進です。

職場の仲間と団結することが、雇止め解雇を阻止する大きな力になります。労働組合に入り、私たちと共に雇用を勝ち取りにいきましょう!

大椿裕子(執行委員長)

# 教員定数の一方的削減で疲弊する現場

桃谷高校通信制では、教員定数がこの4年間で8名も削減されました。来年度については聴講生を多数受け入れ地域連携を行っているにもかかわらず、「地域連携加配」がなくなり、教員定数削減は9名となります。

さらにそれに追い打ちをかけるように今年度に配置されていた定数外加配3名がなくなります。

5年前に比べると20%も教員が減らされたことになり、現場はその影響でかなり疲弊しています。再任用教員の方

もてはやされるエリート教育

に担任してもらったり、スクーリング回数を減らしたり、試験回数を減らしたり、1クラス当たりの生徒数を多くするなどしてなんとかやってきましたが、これ以上は限界です。

### 弱者切り捨ての教育委員会

例年2,100~2,200人在籍する桃谷高校通信制は、全日制や定時制に毎日学校に通うことが困難な人たちのために設置された学校です。不登校経験者や中退者、病気や障害な

ただ公教育って何なんだ？

どさまざまな事情を抱えた多くの生徒たちが通っています。

学校教育でもっとも大事な要素は教師です。その教師を教育委員会は激減させたのです。これは通信制の生徒たちの教育を受ける権利を見捨てる行為です。逆に難関大学進学者が多い学校には予算を厚くしています。弱者を切り捨てエリートを育てる教育行政の差別的なあり方がここにはつきりと示されています。

教育の機会均等が求めるもの

改悪された教育基本法にもまだ機会均等原則は残されています。機会均等をもっともめぐまれていない人々の利益を最大化することが求められます。ところが教育委員会は、それとはまさに正反対のことを、ますます格差を拡げる施策を行っているのです。怒りを込めて委員会の暴走を弾劾します。

勝山貴可(高校支部)

## 文化おちこち

(161)

### おちこちブックレビュー



柏木ハルコ『健康で文化的な最低限の生活』1~3 (小学館)

私は普段、実用的な本や参考書くらいしか読まず、漫画なんて読む意味すらない、と今回紹介する本と出会うまで思っていました。ところが、たまたま、夫の本棚に漫画なのになんだか不思議な題名にひかれて手に取って読んでみたら、とても面白くて、先日、夫に3巻を買ってきて頼ん

だほでした。

物語は、のほほんとした主人公の女の子(義経えみる)が、新任公務員として福祉事務所に配属されるところから始まります。右も左も分からない状態の中で、えみるはここで生活保護に関わる仕事に就き、様々な事情を抱えた方の生活保護の受給に対応していきます。

私は数年前まで生活保護は何かの事情で全く働くことが出来ない人が受給するものと思っていたのですが、かつて私が学校で奨学金担当の仕事をした時に、初めて生活保護は働いていても貰えるということを知り、驚いたことを思い出しました。

しかし、なぜ貰えるのか? どうやって申請がおけるのか? など、知ろうともせずに疑問に思ったままでいたのですが、この本のエピソードを通し、こうやって受給されるのかと

知ることができました。

フィクションですので、実際に現場にいる方からすれば少し異なるかもしれませんが、しかし、ニュースで取り上げられる不正受給や申請がおりずに亡くなった悲しい訃報などは、結果だけが伝えられているように思います。

私たちにとって、本当に大切なことは、生活保護が受給者それぞれどのような背景で受給されているかもっと知ることなのだと思います。また、この生活保護を通して私たち自身の生活についてよく考えるきっかけになるのではないのでしょうか?

1冊20分もあれば読めるので、将来を担う子供たちにも一度読んでほしいと思うくらいお勧めです。

合わせて、稲葉剛『生活保護から考える』(岩波新書、2013年)を読んで勉強になりました。 PONPOKO

## 2016年度 新執行部体制

一年間よろしくお願いします

- ・執行委員長 大椿裕子 (本部)
- ・副執行委員長 高田晴美 (門真守口支部)
- ・書記長 酒井さとえ (高校支部)
- ・書記次長 岸本伸一 (高校支部)
- ・執行委員 豊嶋登 (八尾中河内支部)
- 寺田智英 (夕陽丘学園支部)
- 田辺岸代 (大阪支部)
- 岡本洋之 (睦学園支部)
- Rube Redfield (大経大支部)
- 増田俊道(高校支部)
- 吉田佳寿美 (エール学園支部)
- ・会計監査委員 佐柄静枝 (大阪支部)
- 横山仁美 (南河内支部)
- 武井博道 (吹田支部)

## 当面の日程

4月17日(日)14時~ 市立中央会館

戦争法廃止へ(市民連合)の歩み 中野晃一(上智大学教授)さんの講演

5月1日(日)10時~ 中之島公園剣先ひろば

第87回中之島メーデー \*詳細は次号でお知らせします!



高校日本史の教科書を読み物として面白いと言う生徒に出会ったことがない それは執筆者が書きたいことを書けな

いからだが、「探求型学習」でその理由を考えさせる授業もいいのでは? 検定制度の不条理を学習するには、教科書はある意味、絶好の材料となるだろう